

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY



KYUTECH TIMES

VOL. **65**
2025.4.1 | SPRING

CONTENTS

04 | VOICE OF GRADUATE

ローム株式会社
吉武 卓真 さん

06 | TOPICS

卒業生インタビューコラボ企画
ローム株式会社人事担当者に
インタビュー

Kyushu Institute of Technology
GIVING CAMPAIGN 2024

07 | CAREER DESIGN

企業meeeeet!!!

特集 | 九工大Now

飯塚キャンパス

ピアサポーター
インタビュー

ピアサポーターの活動をもっと知りたい方は...
公式Xをフォロー!

今後のイベントや活動を発信中



@Kyutech_Peer

(Message)



仲間同士が支えあうピアサポート活動は、学生と教職員が協働することに大きな意義があります。学生だからこそ出来る活動を陰ながら支えていけるよう、保健センターの教職員一同、日々やりがいを感じながら本活動に携わっています。本学の学生支援の一環として、ピアサポート活動を充実させ、学生が主体的に成長できる環境を整えていきたいですね。目指せ全学展開!!!

山口 駿範さん

学生支援本部 学生支援課 学生健康支援係
カウンセラー

飯塚キャンパス

ピアサポーターインタビュー

学生を支援する学生のための“ピアサポーター”は2024年4月に発足。現在、活動の中心となる学生の皆さんに直撃インタビューしました!



廣渡 由羽さん

情報工学部
生命化学情報工学科 3年



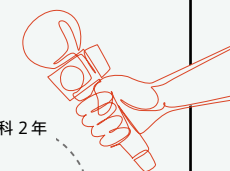
古川 ひかりさん

情報工学部
知能情報工学科 3年



水月 晴賀さん

情報工学部
生命化学情報工学科 2年



Q 皆さんが思う「ピアサポーター」とは?

古川さん...一言でいうと、学生による学生のための支援活動ですね!

廣渡さん...学生同士だからわかる「ニーズ」に対してイベントを企画できるところが他の団体と違うところだな、と思います。

水月さん...私も「学生目線」を大事にしているところがこのピアサポーターのよいところだと感じています。

Q 具体的にはどんな活動をしていますか?

廣渡さん...6月には新入生を対象とした「新入生歓迎ドッチボール大会」を実施しました。私自身、1年生の時に「もつと他の学科の人も仲良くなつてみたい」という思いがあったので企画してみたいです。実施後のアンケートでは「知らなかった人と友達になって運動もできて楽しかった」など嬉しいコメントをもらうことができました。

古川さん...7月・11月には「朝活健康増進活動」を実施しました。テスト期間中は生活リズムが崩れやすくなるので、みんなで朝から行動しよう!をテーマに企画。パンや飲み物を用意し、できるだけ多くの人が参加できるように雰囲気づくりを工夫しました。

Q 活動の中で大変なことはありませんか?

水月さん...参加者を募るのが大変だと感じます。新入生歓迎企画の第2弾として「ボードゲーム&相談会」を企画してみましたが思うように参加者が集まらず...でも企画前に新入生を対象としたアンケート調査を実施し、多くの学生に回答してもらえたことは大きな収穫でした。新入生の悩みとして「進路」や「学業」などがあることが分かり、学生の「ニーズ」を見つけていきたいと思います。

廣渡さん...3年生になると就活と院進学に悩む学生も多いので、先輩に相談できる「就活進路相談会」を7月に実施しました。就活向け、院進学向けセミナーは大学でもありますが、どちらかまだ迷っている段階で相談できる機会が少なく感じたので。アンケートでも「それぞれの道に進んだ先輩

両方の意見が聞けてよかった」といった感想をもらうことができました。苦労もありましたが企画してよかったと感じています。

古川さん...私たちが初のピアサポーターなので、運営面に課題を感じることがあります。まだ手探りな部分も多いので、他大学のピアサポーター活動を視察させていただいたことも。認知度もまだまだなので、今回の「九工大通信」を読んでぜひピアサポーターを知ってほしいです(笑)。

Q 今後の目標はありますか?

古川さん...私はこのピアサポーターが学生と大学の架け橋になれば、学生がどういった悩みを抱えているか、また大学側も学生に望むことは何か、双方の「ニーズ」をつないでいくことができれば、学生もよりよい大学生活が送れると思うんです。学生と大学側の対話の機会をぜひつづけてみたいですね。

Q 最後に学生の皆さんにメッセージをお願いします!

廣渡さん...私自身ピアサポーターの活動を通して人間関係が広がりました。自分にはない魅力をもっている学生がたくさんいることに気づき、自分自身の成長につながったと感じています。皆さんもピアサポーターの企画を通して、自分の世界を広げていってもらえたら嬉しいです。

水月さん...私は実はピアサポーターに入る前、「何かやりたい...!」というエネルギーがあり余っていたんです(笑)。その中でピアサポーターとして活動をしていくうちに「自分のエネルギーを注ぐ場所を見つけることができた!」と思えるように。今なんとなく「自分の居場所が見つからない!」と思っている人にも「自分の居場所は必ずあるよ」と伝えたいです。

古川さん...大学で「孤独感」や「声の届かなさ」を感じている学生もいるように思います。そういった学生達に、声の届く、きつかけがある、ということ伝えたい。まずはピアサポーターの活動をチラッと覗いてみる、それで企画に参加してもらえたらより大きなきつかけに。「ひとりじゃないんだよ」ということに気づいてほしいし、そのきつかけづくりを一緒にしていきたいです。



1.「就活進路相談会」の様子 / 2.「新入生歓迎ドッチボール大会」の様子 / 3.「朝活健康増進活動」の様子 / 4.現在のメンバーの皆さん。計18名の学生が所属。「執行部」を中心に「企画」「広報」などチームごとに連携しながら活動中!



Global Company

半導体メーカーの
海外拠点

WORKPLACE

ローム株式会社

常に変化し、成長し続ける半導体の世界で
九工大で深めた材料工学を活かし
新たな半導体の可能性を拓く

SiCrystal
A ROHM Group Company



PROFILE

ローム株式会社

吉武 卓真さん
YOSHITAKE Takuma

2020年 3月
工学部 マテリアル工学科 卒業
2022年 3月
大学院工学府 材料工学専攻 博士前期課程 修了
2022年 4月
ローム株式会社入社
2024年 1月
SiCrystal GmbH(ドイツのグループ企業)へ出向

基礎研究に興味を持ち、材料工学を学んだ吉武さん。
その材料工学の知識や実験立案、考察の力を存分に発揮し
今は技術者としてドイツに出向し
大きなプロジェクトに取り組んでいます。
九工大での学びやインターンシップのこと
今の仕事のこと、やりがいなどを伺ってみました。

Q1 九工大を選んだ理由は何ですか

高校生の時は、応用研究よりも基礎研究に携わりたいと考えていました。高校の先生にアドバイスをいただき、工学部で、かつ基礎研究に力を入れることができそうな材料工学を学ぶことに決めました。
九工大を選んだのは、材料系の勉強ができる学科があったからです。入学後に、就職サポートに力を入れていることを知り、九工大を選んでよかったと思います。

Q2 大学ではどんな事を学びましたか

マテリアル工学科なので、鉄鋼材料、非鉄材料(アルミニウムなど)、半導体材料、材料力学、結晶工学、熱力学など、金属材料工学の基礎を学びました。基本的なことだけでなく、関連知識の取り入れ方や研究課題の設定方法、実験の進め方、考察の仕方など、基本的な研究のやり方を学べたことは大きかったです。大学で受けた講義の内容は、そのまま仕事の役に立っています。



Q3 インターンシップには参加しましたか

留学は、台湾に1週間の短期留学に参加し、現地大学生と英語で意思疎通しながら課題に取り組みました。インターンシップは、京都のローム(株)の本社をはじめ、短期インターンシップも5社ほど参加しました。複数の企業に参加したことで、各社の雰囲気や事業内容を比較できたことが良かったです。ローム(株)の本社に関しては、早期選考への参加権をもらえたことも良かったです。

Q4 大学時代において良かったと思うこと、今につながっていることはありますか

留学やインターンシップは参加して良かったです。学生時代ならではの貴重な経験ができましたし、他学生が持っていない経験として就職時にアピールポイントにもなりました。
また、友だち、研究室での先輩後輩、バイト仲間など多くの人と関わってきたコミュニケーション力は、仕事で共同作業をする時にも大いに活かされています。

Q5 今の企業を選んだきっかけや理由を教えてください

まず働く分野を選ぶうえで悩みましたが、産業として比較的新しく、かつ成長が続いている半導体分野を選びました。成熟した分野より、研究や新規開発の機会が多いと考えたからです。半導体分野の中でもローム(株)を選んだのは、ベンチャー精神を掲げており、既存の技術に留まらず、新材料半導体の部品開発など、新しい技術に関わる機会が多いと考えたからです。

Q6 現在の仕事内容を教えてください

現在は、社内プロジェクトの一環で、グループ企業であるドイツのSiCrystal GmbHに出向し、新材料半導体の基板材料を作っています。新たな分野への挑戦なので、自分自身のステツアップにもつながっています。
毎年数名の技術者がドイツに赴任しますが、今回は大きなプロジェクトで例年より多くの人数が赴任してきました。数年間駐在し、その後は、引き続き日本でプロジェクトに携わる予定です。

Q7 現在の生活スタイルを教えてください

仕事でも街中でも英語が通じるので、ドイツ語が分からなくてもあまり困りません。私生活でどうしてもドイツ語が必要な時などは、ドイツ語修得に頑張っている妻に頼ります。最近では有給休暇の取得も推進され、在宅勤務の選択肢も増えました。
他方、繁忙期には業務に集中して取り組むことも多いです。

Q8 仕事のやりがいや、今後の目標は何ですか

新材料半導体の材料製造というまだ開拓されつくしていない分野で、自分の意見が製品を改善する可能性が大いにあるということがやりがいです。新しいことを知ること、知的好奇心が満たされることもやりがいの一部です。専門家がかりの社内の議論で自分の意見を主張できれば、技術者としての自信にもつながります。
今後は、新しい製品や新しい製造工程を創るような仕事をやってみたいです。

Q9 九工大生、九工大を目指す高校生にメッセージをお願いします

大学生活は忙しい時期もあれば、講義やバイトのルーティンだけで停滞する時期もあると思いますが、その停滞した時期をいかに有意義にするかが大事だったのかなと振り返ると思います。その時にしかできないことが、たくさんありますから。
大学生活も受験も、あとで振り返った時に後悔しないようにしっかりと迷って、決めたなら後悔しないように頑張ってください。

MY WORKPLACE

就職先のご紹介

ローム株式会社



1958年、京都で小型抵抗器メーカーとして設立。現在は半導体の開発から生産までを一貫して行える総合半導体メーカーです。海外76ヶ所、国内21ヶ所に拠点を置き、世界的に展開しています。長年培ってきたエレクトロニクスの技術で社会課題解決に取り組むとともに、教育支援、環境保全、文化・地域交流といった社会貢献活動も積極的に行い、社会とロームの持続可能な成長を目指しています。

グループ会社
連結従業員構成

外国人従業員数

16,606人

全体 23,319人

海外売上比率

約 50 %

CAREER DESIGN

学生 × 企業

普段話せない企業様と
堅苦しい感じではなく話せて
とても楽しいイベントです！企業 meeeet!!! のような
趣旨のイベントは少なく、
内容もとても新鮮でした。色々な新しい企業を
知ることができました。
興味のある会社は帰ってから
調べてみようと思います！広がる良繋がり
企業 meeeet!!!学生と気軽に
交流できる機会は
非常にありがたい！

GYMLABO が主催する本イベントは、企業と学生がカジュアルに出会い、気軽に話しながら良い(“eeeeee”)繋がりを作ることを目的としています。私服でリラックスしながら企業の方々と交流をして、自分のキャリアについて考えるきっかけを見つけられる場となっています。いくつかのテーマについて座談会形式で学生と企業の方々が話し合うスタイルになっており、企業と学生が共に新しい価値を創造する機会を作り出すことを目指しています。2024年度は4回開催し、企業・学生ともに大変満足度の高いイベントです！

REPORT

2日間にわたって開催をした2024年秋の会では、16社約60名の学生&企業の方に参加いただきました！トークテーマは「こんな社長がいたらいいな」や「こんな広報アイデアは学生に効く」、「(人事の視点に立って)採用の時にこんなところを見る」などです。また、「勝手にキャッチコピーゲーム」では、学生が企業から企業理念や事業内容をヒアリングし、企業のキャッチコピーを勝手に考えちゃいました。ラフに話し合うことによってお互いの理解をより深めることができました。



GYMLABO で開催



GYMLABOとは、グローバルな人材、アイデア、シーズなどを有機的に結びつける交わりの形成拠点として2022年にオープンしたコワーキングスペースです。

九工大サークルによるダンスや演奏…そして漫才まで！
オープニング&エンディングイベントもお見逃しなく！

これまでに開催したイベント

- 七夕meet！
- キミ未来meet！(OBOG交流会)
- クリスマスmeet！
- 企業 meeeet!!!
- 企業 meeeet!!! 秋

— 累計 —
約 **60社**
230名
が参加！*

※前身イベントを含む

学年・キャンパス
問わず参加可能開催通知は
こちらから

https://www.gymlabo.kyutech.jp/

お問い合わせ先
九州工業大学 GYMLABO

受付時間 | 平日 9:30 ~ 18:30

TEL | 093-884-3288

MAIL | contact@gymlabo.kyutech.jp

TOPICS

卒業生インタビューコラボ企画

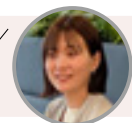
ローム株式会社人事担当者 にインタビュー

— エンジニアのキャリアパスについて —

現在就活中(取材当時)の情報工学府1年生の特田海音さんと大学院進学予定の情報工学部4年生の詫間結太さんが素朴な疑問をお尋ねしました

お答え
いただいた
のは

山内 翔太 様
人事部 人事戦略課
グループリーダー



中出 多美子 様
人事部 HRBP 課 採用企画 G
グループリーダー

Q1 エンジニアで就職したら、
将来ずっとエンジニア職でしょうか？

エンジニアとしてスペシャリストを目指すか、ライン職としてマネジメントを行うかの道があります。また、入社2年以上の社員を対象とした「ジョブ・ポスティング制度」で別のポジションにチャレンジ可能な制度を2023年に導入しました。この制度は、人材の流動性を高めること、「自分のキャリアは自分で決める」ことでエンゲージメントを高めることを目的としています。実際に、技術職で入社後、希望して人事部に異動した社員もいます。

Q2 海外勤務の
チャンスはありますか？

はい、様々なケースがあります。海外出張もあれ

ば、「海外トレーニー制度」で1年間の海外勤務へチャレンジ可能です。また海外出向(駐在)で、海外の拠点(欧米、中国、東南アジアなど)に3~5年程度、勤務することもあります。技術職の場合、生産管理や現地顧客の技術サポートといった業務を行うことが多いです。

Q3 最後に、九工大生へ
メッセージをお願いします！

学生時代には様々なことにチャレンジしてほしいです。失敗も経験なので、恐れずに興味のあることに挑戦してみてください。そして、英語の勉強をがんばってください。社会人になると時間がなかなかとれず、学生時代にやっておけばよかった…と後悔しています(笑)



Kyushu Institute of Technology
GIVING CAMPAIGN
2024

2024年10月11日~20日の10日間、九工大の学生団体を応援するオンラインチャリティーイベント『Kyushu Institute of Technology Giving Campaign 2024』を開催。卒業生や保護者様をはじめ、地域の方々など計**7,331**人の皆さまにご寄附及び応援投票をいただきました！学生たちも率先してSNSを活用し、応援投票の呼びかけを実施。様々な方に活動をPRすることで直接応援いただく機会や新たなご縁も繋がり、大変貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。学生たちの今後の躍動にぜひご期待ください！

本チャリティーイベントは、企業からの協賛金をもとに、各団体の獲得応援投票数などに応じて、活動資金が配分される仕組みとなっています。

詳しい情報は
公式サイトからどうぞ



1位
アイスホッケー部
1,063 票



本活動を通してご支援いただきありがとうございます。多くの方々にアイスホッケー部を知ってもらい応援していただきました。皆様に恩返しできるよう精進してまいります。あつ〜い応援をよろしくお願いします！！

2位
Karman+
886 票



私たちKarman+は学生の力で宇宙到達を目指すロケットプロジェクトです。Giving Campaignでの多くの応援、感謝申し上げます。ご支援は初号機の打ち上げのための費用として活用いたします。今後とも応援よろしくお願いいたします。

3位
アメリカンフットボール部
772 票



この度は弊部へのご支援誠にありがとうございます。今年度は2部優勝、1部昇格を成し遂げることができました。来年度は創部初の1部残留を目指します。応援よろしくお願いします。

INFORMATION

KYUSHU INSTITUTE OF TECHNOLOGY 2025 SPRING



国立大学法人
九州工業大学

九工大News

九工大の取り組みをご紹介します

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択！ ～ 国内25大学のひとつに選ばれました ～

「令和6年度 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS)」に採択されました。この事業は、大学における研究力の飛躍的な向上を目指し、強みや特色のある研究力を核とした戦略的な経営に基づく取組みを国 (文部科学省) が支援するものです。我が国の研究力を牽引する大学群として、令和5年度12大学、令和6年度13大学が採択、国内25大学の1つとして選ばれました。



事業期間
5年間 令和7年度～(予定)

先行して戸畑キャンパスに拠点施設「九工大未来テラス」を整備中 (2025年度完成予定)

連携大学	北九州市立大学、長崎大学
参画機関	東京大学、東京工業大学 (現 東京科学大学)、室蘭工業大学、九州大学、国立研究開発法人情報通信研究機構、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構、マレーシアプトラ大学、キングモンクット大学北バンコク校、台湾科学技術大学、ニューヨーク市立大学、サビエンツア大学、ロレーヌ大学

「多文化共修キャンパス創出支援事業 (MULTICULTURAL CAMPUS PROJECT)」に採択！ 立命館アジア太平洋大学 (APU) と協働



※2024年12月、NHK北九州でニュースにもなりました。

立命館アジア太平洋大学 (以下、APU) と九工大が協働し、文部科学省「多文化共修キャンパス創出支援事業 (MULTICULTURAL CAMPUS PROJECT)」大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」に2024年11月に採択されました。

すでにAPU×九工大生の交流は行われており、2024年11月・12月には飯塚市の地域課題を解決する取組みに両大学および市内高等学校の学生計28名がチャレンジ。飯塚市にある嘉穂劇場を「どうすればより魅力を高めることができるか」という課題に対しチームごとに活用案を発表。参加学生には飯塚市より修了証が授与されました。

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University


国立大学法人
九州工業大学

表紙より

環境とヘルスケアのために微生物機能を活かす

微生物は目に見えない小さい生き物ですが、人類が活動していく場、たとえば食品、環境、ヘルス (健康)、農作など多くの分野で深く関与しています。別の言い方をすると、地球温暖化、環境汚染、超高齢化社会など、この先の人類が抱える多くの課題に対して、微生物が持つ優れた機能を役立てることができれば、人類の活動がより活発になると言えます。

前田研究室では、九州工業大学の中では珍しく、微生物自身の力を活用して元気な社会を創る、すなわち環境とヘルスケアに微生物機能を活用する研究を行っています。具体的には、自然界などに存在している特殊能力を持った微生物の機能、および特性 (酵素・遺伝子資源) を
①解明する ②改変する ③工学的に応用するという3つの視点から追究し、環境・エネルギー

分野、あるいは医療・食品分野に、有用かつ有益で革新的な研究技術を構築することを目指しています。環境・エネルギー分野では、プラスチックなどの難分解性化学物質の微生物分解とメタン・水素などのバイオエネルギー生成に取り組み、ヘルスケア分野では、薬剤耐性菌を不活性化できる捕食性細菌の探索と機能解析、および歯周病やニキビなどの病原菌に対するクォーラムセンシング制御などの研究を進めています。地球上には宇宙の星の数よりもはるかに多くの微生物が存在していますし、まだまだ明らかになっていないことがたくさんあります。その小さくとも無限の可能性を秘めた微生物の存在が、人の社会や未来を変える大きな力を持っていることに期待して、研究に励んでいます。



若松キャンパス

前田 憲成 教授

生命体工学研究科
生体機能応用工学専攻



九州工業大学
後援会

「九州工業大学後援会」では、学生の教育や公害活動などの支援事業を行っています。事業報告書などはこちらからご覧ください。



九工大通信
WEB

九工大通信がWEBサイトからもアクセスできるように。ぜひお気軽にオンラインでもお楽しみください。



九工大通信アンケート・トピックス大募集！

「こんな取組を知ってほしい」などあなたの活躍を九工大通信に掲載してみませんか？また、よりよい誌面づくりのため、アンケートのご協力をお願いします。

